

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 076	提案機関名 葉山町漁業協同組合
要望問題名 ハマグリ増殖に係る調査・指導について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 当漁協の沿岸漁業は、漁業者の高齢化、水産資源の枯渇及び磯焼けの進行等、漁獲量の減少により厳しい状況が続いています。 平成30年1月の漁業者交流大会で、藤沢市漁協からの湘南はまぐりについての活動発表で、一時は資源が壊滅したハマグリが、種苗放流等を通じて資源が復活し、新たな漁獲対象となり、ブランド化を通じて新名産となったことを聞いております。 観光地で集客が多い当地でも、ハマグリが増殖すれば、新たな漁獲対象となるだけでなく、地域の料理店でメニュー化され新名産としての定着も見込まれるため、ハマグリを増殖を図ろうと考えております。 付きましては、ハマグリ分布状況と再生産の状況を調べるため、当漁協が実施するハマグリ分布調査と稚貝調査への協力、ハマグリ増殖に向けた助言・指導をお願い致します	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画資源部（普及指導担当）
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 貴漁協が実施するハマグリ（チョウセンハマグリ）増殖に係る調査等を指導・支援いたします。 チョウセンハマグリを増殖させるためには、まずは分布調査で生息状況を把握する必要があります。 チョウセンハマグリは汀線～水深6mにかけて生息し、底質と地形が重要なので、それらを踏まえた上で、分布調査の際の漁具・漁法や、分布密度の解析等を支援いたします。この調査で親貝が確認された場合には、稚貝分布調査で再生産の状況の確認等を支援するとともに、具体的な増殖手法について漁業者研修会を開催して、ご指導いたします。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			